

在学率と通学率から見る 在日外国人青少年の教育 —2000年国勢調査データの分析から—

大曲由起子（移住労働者と連帯する
全国ネットワーク）

高 谷 幸（日本学術振興会）

鍛 治 致（大阪成蹊大学）

稲葉奈々子（茨城大学）

樋 口 直 人（徳島大学）

1 はじめに

日本で生活する外国人の高校進学率や大学進学率が日本人より低いことは広く知られている。だが、それを全国規模のデータで数値化したものを目にする機会は意外に少ない。

本稿の執筆者の一人である鍛治は、国勢調査のデータを用いて外国人の教育について論じたことがある（鍛治致「統計でみる外国人児童の家庭環境と教育課題」『日本語学』28巻6号、2009年、鍛治致「在日外国人の文化的貧困——15-19歳の通学率に見る日本籍との格差」『Migrant's ネット』131号、2010年）。だが、15～19歳や20～24歳の通学率は国籍別・都道府県別に計算できるものの、データの制約から「それが高校通学率なのか大学通学率なのか日本語学校通学率なのかが分からない」「各歳ごとの通学率が分からない」「日本で高校を卒業した外国人の大学通学率が正確に計算できない」等の課題が残された。

本稿が用いるのは2009年の統計法改正によって利用可能となった未公表データである。この改正によって、国勢調査については、集計を委託して開示してもらうことが可能になった。もちろん、こうした「オーダーメイド集計」に問題がないわけではない。中でも、プライバシー保護のためとはいえ、実数値の一の位がすべて四捨五入されてしまっているのは、データの精度が著しく下がるという意味で、データを利用する側にとっては深刻な問題である（詳しくは、大曲由起子他「在日外国人の仕事」『茨城大学地域総合研究所年報』44号、2011年を参照）。

とはいえ、今回開示されたデータが従来公開されてきたデータと比べ格段に優れていることには変わりはない。そこで、本稿ではこの2000年国勢調査の未公表データを示しつつ、在日外国人青少年の教育について論じることとする。

本稿の構成は次の通りである。まず、「2」では、在日外国人青少年の高校在学率と短大・専門学校在学率と大学・大学院在学率を、国籍別・年齢各歳別・男女別に見ていく。続く「3」では、大学進学のために18歳で来日する中国人学生が在日中国人の大学通学率を大きく押し上げ、「デカセギ」のために16～18歳で来日する日系ブラジル人が在日ブラジル人の高校進学率等を大きく押し下げているという推測の下、日本で中学や高校に通った外国人が一体どれだけ日本の高校や大学に進学できているかを見るために、5年前に日本以外の国に住んでいた者を除外した上で、「2」で行った集計を再度行う。最後に、「4」では、日本に来て間もない者や転居を頻繁に経験した者は学業の継続が難しくなるのではないかという予測の下、5年前の常住地別の通学率を国籍別・年齢各歳別・男女別に見ていく。

2 学校種別・国籍別・年齢別・男女別の在学状況

まず紹介するのは表1である。これは、2000年10月1日の国勢調査に回答した人が当時どのような種類の学校に通っていたのかを、国籍別・年齢別・男女別に示したものである。

表1 学校種別・国籍別・年齢別・男女別の在学者の人数および比率

			日本		韓・朝		中国		フィリピン		タイ		ブラジル		ペルー	
			N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
高校	女	15歳	333,440	47.4	1,510	51.5	230	27.7	20	10.5	0	0.0	100	13.3	10	11.1
		16歳	688,020	94.9	2,790	90.9	630	82.9	110	44.0	20	50.0	300	30.6	80	53.3
		17歳	694,310	93.8	3,420	92.4	800	87.0	60	37.5	20	50.0	410	36.0	80	44.4
		18歳	370,830	50.3	1,670	47.4	620	45.3	30	15.0	10	16.7	240	17.0	110	55.0
		19歳	23,640	3.2	200	4.8	190	9.1	10	3.1	0	0.0	30	1.5	20	11.1
		20歳	11,820	1.5	40	1.1	100	3.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	男	15歳	338,520	45.7	1,350	47.0	200	29.4	20	12.5	0	0.0	130	13.1	20	11.1
		16歳	708,050	92.4	3,370	93.4	660	69.5	50	50.0	0	—	340	34.7	40	50.0
		17歳	698,040	90.7	2,980	88.7	540	64.3	50	45.5	20	40.0	430	29.5	90	60.0
		18歳	387,080	50.0	1,810	52.6	580	48.3	60	42.9	30	60.0	450	24.9	50	35.7
		19歳	32,730	4.2	190	5.6	270	14.8	10	4.8	20	40.0	40	2.2	0	0.0
		20歳	15,380	1.9	70	2.0	80	3.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
短大・専門学校	女	18歳	128,620	17.5	420	11.9	130	9.5	0	0.0	20	33.3	100	7.1	10	5.0
		19歳	259,310	34.8	810	19.3	450	21.5	20	6.3	20	28.6	100	5.1	40	22.2
		20歳	166,930	21.8	730	19.2	680	20.5	20	5.6	20	18.2	80	4.1	0	0.0
		21歳	45,160	5.8	300	7.7	510	12.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		22歳	19,960	2.5	260	5.9	360	8.3	10	0.6	0	0.0	0	0.0	10	5.9
		23歳	10,890	1.3	220	5.2	420	10.0	20	1.0	10	5.3	0	0.0	0	0.0
		24歳	7,590	0.9	200	4.8	380	8.4	0	0.0	0	0.0	10	0.4	0	0.0
		25歳	5,550	0.6	150	3.2	370	7.3	10	0.5	10	2.1	0	0.0	0	0.0
	男	18歳	71,870	9.3	240	7.0	100	8.3	0	0.0	10	20.0	110	6.1	0	0.0
		19歳	128,210	16.5	460	13.6	380	20.9	0	0.0	0	0.0	110	6.0	20	9.1
		20歳	82,600	10.1	280	8.0	570	23.6	10	6.3	0	0.0	40	1.7	0	0.0
		21歳	26,750	3.3	100	2.7	420	16.3	0	0.0	10	7.7	20	0.8	0	0.0
		22歳	14,350	1.7	70	2.0	420	15.7	10	5.0	0	0.0	10	0.4	0	0.0
		23歳	10,310	1.2	210	4.9	360	13.7	10	3.2	10	4.8	10	0.4	0	0.0
		24歳	6,630	0.7	200	4.3	430	12.5	0	0.0	10	6.7	0	0.0	0	0.0
		25歳	5,100	0.5	160	3.6	430	12.0	0	0.0	10	4.0	0	0.0	0	0.0
大学・大学院	女	18歳	91,570	12.4	450	12.8	110	8.0	0	0.0	20	33.3	0	0.0	0	0.0
		19歳	199,530	26.8	1,330	31.7	410	19.6	40	12.5	30	42.9	40	2.0	0	0.0
		20歳	201,440	26.4	1,050	27.6	770	23.2	20	5.6	10	9.1	40	2.1	10	5.3
		21歳	199,630	25.7	1,020	26.2	970	22.9	30	3.8	40	66.7	50	2.3	20	13.3
		22歳	134,300	16.6	910	20.7	1,150	26.6	70	4.0	10	9.1	50	2.1	0	0.0
		23歳	43,410	5.3	510	12.0	870	20.7	20	1.0	60	31.6	10	0.4	10	4.5
		24歳	20,390	2.4	410	9.8	950	21.0	10	0.4	40	17.4	20	0.9	0	0.0
		25歳	10,470	1.2	350	7.6	1,040	20.6	0	0.0	60	12.8	10	0.4	0	0.0
	男	18歳	125,920	16.3	460	13.4	150	12.5	0	0.0	10	20.0	20	1.1	0	0.0
		19歳	287,170	37.1	1,170	34.6	450	24.7	10	4.8	10	20.0	40	2.2	40	18.2
		20歳	325,350	39.9	1,360	38.7	790	32.6	30	18.8	30	75.0	50	2.1	10	5.9
		21歳	320,250	38.9	1,290	34.6	890	34.5	30	8.1	80	61.5	40	1.6	0	0.0
		22歳	252,890	30.0	800	22.5	1,000	37.3	20	10.0	50	50.0	50	1.9	0	0.0
		23歳	134,700	15.6	750	17.4	890	34.0	0	0.0	80	38.1	0	0.0	0	0.0
		24歳	71,520	7.9	610	13.1	1,030	30.0	10	4.3	80	53.3	40	1.3	0	0.0
		25歳	35,130	3.7	440	10.0	960	26.9	10	3.2	40	16.0	30	0.9	30	8.1

注：—は「分母」が0であることを示す。Nは「分母」ではなく「分子」の実数値である。

上記の表からは以下のことが分かる。

第1に、韓国・朝鮮人は男女とも24～25歳における大学・大学院在学率が日本人より高いものの、それ以外については日本人とほとんど変わらない。第2に、中国人の高校在学率をみると、男子は16～17歳において日本人より20～25ポイント程度低く、女子は16歳において日本人より10ポイント程度低い。また、大学・大学院在学率をみると、男女とも19歳においては日本人より10ポイント程度低いが、23歳以降においては日本人より15～20ポイント程度高い。第3に、ブラジル人の高校在学率をみると、40%を超える年齢が男女とも見当たらない。また、男女とも18～19歳において5%程度が短大・専門学校に在学しているが、大学・大学院に在学する者はほとんどいない。

3 在日歴5年以上の者の在学状況

次に、5年以上日本で生活している者のみに統制して在学率を集計してみよう。この集計には2つの意義がある。第1に、日本で中学校生活を送った者がどれだけ高校に在学できているのかが分かる。第2に、日本で高校生活を送った者がどれだけ大学に在学できているのかが分かる。在日歴の判別には「5年前の常住地（全国）」という変数を用いたが、この変数において「転入（国外から）」に区分されている人数を表1から差し引いたのが表2ということになる。

表2の見方は次の通りである。たとえば、表中の16歳のブラジル人男子の高校在学率は50.0%である。すなわち、5年前（＝1995年）には日本におり、日本の中学校に3年間通う機会があった者のうち、2000年10月現在高校に通っているブラジル人男子（17歳）は50.0%（360人中180人）に過ぎない。また、この表をみると、20歳の中国人女子の大学在学率は40.0%とある。これは、5年前には日本にいて日本で高校生活を3年間送ったであろう中国人女子の40.0%（600人中240人）は、2000年現在大学に通っていることを示す。

このように、上記の表の利点は、留学や「デカセギ」や研修や国際結婚で来日した外国人ではなく、中学校時代や高校時代を日本で過ごし

た外国人の、高校進学率や大学進学率が算出できる点にある。したがって、この表の数字は、日本の中学校や高校が外国人の進路をどれだけ保障できているのか——言い換えれば、外国人教育における日本の学校の実力——を示した数字であると考えてよい。

この表からは以下のことが分かる。

第1に、韓国・朝鮮人だが、在日歴5年以上に統制したことにより、24～25歳における大学・大学院在学率が日本人と同程度に下がった。24～25歳における大学・大学院在学率を先の表1で押し上げていたのは、19～20歳以降に来日した韓国人留学生だったのだろう。

第2に、中国人だが、在日歴5年以上に統制したことにより、女子の高校在学率は日本人と同等になったし、男子の高校在学率についても10ポイント程度向上し、日本人との格差は10～15ポイントにまで縮まった。また、23歳以降の大学・大学院在学率を見ると、男子については10ポイントほど下がったものの依然として日本人よりも10ポイント程度高く、女子については統制後もほとんど下がらず、依然として日本人よりも10～20ポイント程度高いままである。20歳未満で来日する中国人留学生在が1995年当時多かったとは考えにくいので、中国人は、中国人留学生を除外して考えたとしても、日本人よりも長く大学に留まる傾向があると解釈しても良いだろう。

また、注目に値するのは、在日歴5年以上に統制したことにより、女子の19～20歳における大学在学率が10～15ポイント向上し、特に20歳における在学率は日本人を15ポイント程度も上回る点である。このことから、中国人女子については、日本で高校3年間を過ごすという条件さえ整えば日本人と同等またはそれ以上の割合で大学に進学すると判断できる。しかし、一方の男子の場合、20歳の大学在学率が日本人より5ポイント程度低いことから、15歳以降の5年間を日本で過ごすという条件が与えられたとしても、大学進学率は日本人よりもやや低いと判断できる。

第3に、ブラジル人だが、在日歴5年以上に統制したことにより、男女とも16歳において高校在学率が15ポイント程度も向上したが、それでも50%を超えることはない。たとえ在日歴が5年

表2 学校種別・国籍別・年齢別・男女別の在学者の人数および比率(在日歴5年以上の者のみ)

			日本		韓・朝		中国		フィリピン		タイ		ブラジル		ペルー	
			N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
高校	女	15歳	332,670	47.4	1,490	51.7	150	34.9	20	15.4	0	0.0	70	16.3	10	20.0
		16歳	686,660	94.9	2,750	91.1	510	94.4	80	44.4	10	50.0	150	46.9	60	66.7
		17歳	692,840	93.8	3,360	92.3	530	86.9	50	41.7	10	50.0	150	35.7	50	55.6
		18歳	370,220	50.4	1,650	49.1	350	56.5	20	18.2	10	—	40	14.3	50	55.6
		19歳	23,600	3.2	180	4.6	60	10.3	10	10.0	0	0.0	30	7.3	20	22.2
		20歳	11,810	1.5	30	0.9	30	5.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	男	15歳	337,740	45.7	1,350	47.9	150	32.6	20	20.0	0	0.0	80	15.1	10	8.3
		16歳	706,810	92.3	3,300	94.0	530	81.5	20	50.0	0	—	180	50.0	30	60.0
		17歳	696,660	90.7	2,960	89.2	330	73.3	30	37.5	0	0.0	160	35.6	90	75.0
		18歳	386,380	50.0	1,790	52.8	310	49.2	20	28.6	30	100.0	160	30.2	40	57.1
		19歳	32,700	4.2	190	5.9	150	20.0	10	8.3	0	0.0	10	2.3	0	0.0
		20歳	15,310	1.9	70	2.1	0	0.0	0	0.0	0	—	0	0.0	0	0.0
短大・専門学校	女	18歳	128,540	17.5	370	11.0	60	9.7	0	0.0	0	—	0	0.0	10	11.1
		19歳	259,170	34.9	710	18.2	100	17.2	0	0.0	0	0.0	20	4.9	40	44.4
		20歳	166,850	21.9	590	17.9	90	15.0	20	22.2	0	0.0	40	8.7	0	0.0
		21歳	45,060	5.8	150	4.6	40	5.6	0	0.0	0	—	0	0.0	0	0.0
		22歳	19,930	2.5	80	2.2	60	9.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		23歳	10,860	1.3	50	1.4	70	10.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		24歳	7,540	0.9	40	1.2	10	1.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		25歳	5,540	0.6	60	1.6	40	3.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	男	18歳	71,800	9.3	240	7.1	50	7.9	0	0.0	0	0.0	20	3.8	0	0.0
		19歳	128,130	16.6	430	13.3	140	18.7	0	0.0	0	0.0	20	4.5	20	18.2
		20歳	82,550	10.1	260	7.6	30	4.6	0	0.0	0	—	0	0.0	0	0.0
		21歳	26,720	3.3	100	2.8	30	4.3	0	0.0	0	0.0	20	2.9	0	0.0
		22歳	14,300	1.7	30	0.9	40	7.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		23歳	10,310	1.2	100	2.5	50	8.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		24歳	6,600	0.7	40	1.0	80	10.4	0	0.0	10	11.1	0	0.0	0	0.0
		25歳	5,080	0.5	20	0.5	20	2.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
大学・大学院	女	18歳	91,090	12.4	420	12.5	40	6.5	0	0.0	0	—	0	0.0	0	0.0
		19歳	198,510	26.7	1,210	31.0	170	29.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		20歳	200,630	26.3	860	26.1	240	40.0	0	0.0	0	0.0	10	2.2	0	0.0
		21歳	198,820	25.6	700	21.3	160	22.2	0	0.0	0	—	0	0.0	0	0.0
		22歳	133,570	16.5	640	17.3	170	27.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		23歳	43,170	5.3	220	6.1	110	16.7	0	0.0	0	0.0	10	1.2	0	0.0
		24歳	20,310	2.4	190	5.7	180	25.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		25歳	10,410	1.2	90	2.3	200	16.7	0	0.0	10	7.7	0	0.0	0	0.0
	男	18歳	125,570	16.3	440	13.0	30	4.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		19歳	286,280	37.0	1,100	34.0	150	20.0	0	0.0	0	0.0	10	2.3	30	27.3
		20歳	324,490	39.8	1,310	38.5	230	35.4	10	14.3	0	—	0	0.0	0	0.0
		21歳	319,550	38.9	1,200	33.3	240	34.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		22歳	252,270	30.0	760	22.4	170	30.4	0	0.0	0	0.0	10	1.3	0	0.0
		23歳	134,350	15.6	590	14.7	140	24.6	0	0.0	20	50.0	0	0.0	0	0.0
		24歳	71,370	7.9	340	8.4	130	16.9	0	0.0	30	33.3	0	0.0	0	0.0
		25歳	35,020	3.7	150	4.0	230	23.2	0	0.0	10	9.1	20	1.3	0	0.0

注: — は「分母」が0であることを示す。Nは「分母」ではなく「分子」の実数値である。1の位を四捨五入した実数どうしを引いたり割ったりしているため「分母」が0なのに「分子」が10になっている部分がある。

以上あっても高校に通えるブラジル人は半数以下——それが2000年当時の状況だったことになる。

4 5年前の常住地別・国籍別・年齢別・男女別の通学状況

最後に「5年前どこにいたか」が教育に与える影響についてもう少し詳しくみておこう。「5年前どこにいたか」という変数——国勢調査では「5年前の常住地（全国）」という変数——は、生活向上のために在日外国人が動員できる資源の多寡を測る上で優れた指標である。第1に、それは経済状況の指標である（生活が安定している人ほど現住所に留まる傾向が強いだろう）。第2に、それは社会関係の指標である（転居を繰り返す者はそのぶん地域社会との結びつきが弱くなるはずだ）。第3に、それは言語文化の指標である（来日5年未満では日本語の修得もま

だ不十分に違いない）。表3と表4は、5年前の常住地によって、国籍別・年齢別の通学状況がどう変化するかを示したものである。

紙幅の都合により、表3は資料として掲載するにとどめるが、表4を読み解くと以下のことがいえる。

第1に日本人だが、20～22歳において、5年前に国外にいた者の通学率が（男子では25～40ポイント程度、女子では30～50ポイント程度）他よりも高い。やはりいわゆる「帰国子女」は高い社会階層に属しており、そのぶん大学通学率等も高いということだろう。また、高校相当の年齢においては「5年前にも現住所に住んでいた者」の通学率が「5年前は国内他所に住んでいた者」の通学率を5ポイント程度上回り、予想通りの結果となった。生活が安定して地域との結びつきも強い家庭はあまり引っ越しをしないだろうし、そのような環境に恵まれている子ほど高校に通う傾向にあるのだろう。一方、高

表3A 5年前の常住地別・国籍別・年齢別・男女別の「通学のかたわら仕事」の人数および比率

		男								女								男女	
		日本		韓・朝		中国		伯国		日本		韓・朝		中国		伯国		伯国	
		N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
5年前現住所	15歳	4,570	0.8	20	1.1	0	0.0	0	0.0	5,610	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	16歳	14,030	2.3	60	2.3	0	0.0	10	5.3	16,080	2.8	50	2.4	0	0.0	0	0.0	10	4.2
	17歳	18,250	3.0	60	2.5	0	0.0	10	5.3	21,600	3.6	90	3.3	0	0.0	10	7.7	20	6.3
	18歳	29,150	5.3	70	3.0	40	12.9	10	5.6	35,540	6.7	90	4.0	10	2.8	0	0.0	10	4.0
	19歳	43,490	9.6	90	4.6	90	26.5	0	0.0	53,250	11.7	250	9.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20歳	43,830	9.7	110	5.6	20	9.5	0	0.0	43,830	9.5	230	10.8	40	16.0	10	11.1	10	4.5
	21歳	39,040	8.6	140	6.2	50	15.6	0	0.0	29,040	6.2	80	3.8	30	9.1	0	0.0	0	0.0
	22歳	31,220	6.6	140	6.4	80	34.8	0	0.0	19,120	4.0	90	3.8	30	9.4	0	0.0	0	0.0
	23歳	17,700	3.7	140	6.1	10	4.5	0	0.0	6,970	1.5	30	1.4	0	0.0	10	6.3	10	2.4
	24歳	9,850	2.0	30	1.2	0	0.0	0	0.0	3,780	0.8	10	0.6	20	10.0	0	0.0	0	0.0
	25歳	5,460	1.1	40	2.0	30	9.7	0	0.0	2,510	0.6	10	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5年前国内他所	15歳	1,620	1.0	10	1.1	0	0.0	0	0.0	1,990	1.4	10	1.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	16歳	4,310	2.7	20	2.3	0	0.0	10	5.9	5,830	4.0	20	2.2	20	8.3	10	3.6	20	4.4
	17歳	5,690	3.8	20	2.1	20	8.0	0	0.0	6,960	5.0	30	3.2	0	0.0	20	6.9	20	3.6
	18歳	18,070	8.1	60	5.7	0	0.0	0	0.0	21,510	10.6	50	4.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	19歳	38,440	12.0	140	10.9	30	7.5	0	0.0	41,920	14.6	80	6.0	20	5.9	0	0.0	0	0.0
	20歳	47,390	13.1	150	10.4	30	6.8	0	0.0	41,430	13.6	80	6.9	50	14.7	0	0.0	0	0.0
	21歳	46,990	12.9	150	11.0	50	13.2	0	0.0	31,480	10.2	70	5.9	10	2.6	0	0.0	0	0.0
	22歳	35,770	9.7	40	3.3	30	9.1	0	0.0	20,940	6.3	60	4.5	30	9.4	0	0.0	0	0.0
	23歳	18,940	5.0	120	7.0	60	17.1	0	0.0	7,430	2.1	40	2.6	30	7.5	20	3.1	20	1.3
	24歳	9,320	2.3	40	2.6	100	20.0	0	0.0	4,100	1.0	20	1.3	10	2.0	0	0.0	0	0.0
	25歳	4,500	1.0	30	1.8	90	13.2	0	0.0	2,690	0.6	20	1.1	20	2.4	0	0.0	0	0.0
5年前海外	15歳	20	1.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	16歳	10	0.8	0	0.0	20	6.7	10	1.6	10	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	10	0.8
	17歳	40	2.7	0	0.0	30	7.7	0	0.0	40	2.6	0	0.0	10	3.2	30	4.2	30	1.7
	18歳	140	10.4	0	0.0	70	12.3	30	2.3	130	9.6	0	0.0	30	4.0	10	0.9	40	1.7
	19歳	190	16.1	10	7.1	130	12.1	0	0.0	200	14.5	30	10.3	160	10.6	30	1.9	30	1.0
	20歳	230	19.5	0	0.0	360	20.3	0	0.0	140	13.6	80	15.7	380	14.0	0	0.0	0	0.0
	21歳	110	11.1	50	38.5	320	17.0	0	0.0	210	18.3	110	18.3	350	9.9	20	1.2	20	0.6
	22歳	150	13.6	0	0.0	390	18.4	0	0.0	190	15.8	180	25.4	510	13.8	0	0.0	0	0.0
	23歳	80	8.1	100	33.3	420	20.5	10	0.6	90	6.9	120	19.0	390	11.0	0	0.0	10	0.3
	24歳	30	2.0	150	25.4	560	21.1	20	1.1	40	2.8	80	9.2	450	11.8	10	0.7	30	0.9
	25歳	30	1.9	110	16.4	340	13.2	0	0.0	20	1.1	80	10.1	390	10.1	0	0.0	0	0.0

注:Nは「分母」ではなく「分子」の実数値である。

表3B 5年前の常住地別・国籍別・年齢別・男女別の「通学」の人数および比率

		男								女								男女	
		日本		韓・朝		中国		伯国		日本		韓・朝		中国		伯国		伯国	
		N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
5年前現住所	15歳	569,330	97.4	1,790	94.7	230	95.8	190	76.0	544,290	97.9	2,130	99.5	200	100.0	80	61.5	270	71.1
	16歳	564,850	93.5	2,460	93.2	380	100.0	120	63.2	547,540	94.7	1,920	90.6	280	90.3	30	60.0	150	62.5
	17歳	561,450	91.0	2,140	90.7	200	95.2	70	36.8	555,120	92.8	2,440	90.4	310	93.9	100	76.9	170	53.1
	18歳	404,960	73.7	1,620	69.2	170	54.8	60	33.3	406,080	76.2	1,530	67.7	280	77.8	30	42.9	90	36.0
	19歳	209,650	46.3	960	49.0	180	52.9	10	9.1	236,960	52.0	1,200	46.7	160	66.7	50	41.7	60	26.1
	20歳	169,460	37.4	720	36.5	50	23.8	0	0.0	169,400	36.9	650	30.5	110	44.0	0	0.0	0	0.0
	21歳	134,080	29.4	640	28.4	110	34.4	0	0.0	106,340	22.8	460	21.9	80	24.2	0	0.0	0	0.0
	22歳	103,960	21.9	400	18.3	60	26.1	0	0.0	64,870	13.5	280	11.9	90	28.1	0	0.0	0	0.0
	23歳	59,290	12.3	310	13.5	60	27.3	0	0.0	22,950	4.9	120	5.7	70	26.9	0	0.0	0	0.0
	24歳	35,000	7.2	210	8.3	60	22.2	0	0.0	12,690	2.8	100	5.6	60	30.0	0	0.0	0	0.0
	25歳	18,390	3.8	90	4.5	30	9.7	0	0.0	6,630	1.5	30	1.5	50	13.2	0	0.0	0	0.0
5年前国内他所	15歳	146,580	94.8	910	97.8	210	100.0	150	55.6	139,160	95.7	680	93.2	210	91.3	220	73.3	370	64.9
	16歳	141,890	88.1	820	94.3	240	88.9	70	41.2	129,990	89.3	800	88.9	200	83.3	160	57.1	230	51.1
	17歳	125,840	83.3	830	86.5	160	64.0	80	30.8	119,710	85.3	860	92.5	240	82.8	40	13.8	120	21.8
	18歳	148,190	66.4	770	72.6	190	59.4	60	16.7	134,980	66.8	770	70.0	180	66.7	10	4.8	70	12.3
	19歳	176,780	55.0	630	49.2	190	47.5	0	0.0	158,140	55.0	600	44.8	150	44.1	20	6.9	20	3.2
	20歳	160,660	44.4	650	45.1	150	34.1	0	0.0	123,720	40.7	530	45.7	160	47.1	10	2.7	10	1.3
	21歳	132,700	36.3	440	32.4	110	28.9	10	1.6	83,260	26.9	310	26.1	140	36.8	0	0.0	10	0.9
	22歳	100,560	27.3	250	20.7	80	24.2	0	0.0	52,250	15.8	280	21.1	130	40.6	0	0.0	0	0.0
	23歳	55,540	14.6	200	11.7	40	11.4	0	0.0	20,760	5.8	100	6.6	70	17.5	0	0.0	0	0.0
	24歳	29,460	7.1	130	8.6	80	16.0	0	0.0	10,420	2.6	150	9.7	100	19.6	0	0.0	0	0.0
	25歳	15,040	3.3	70	4.1	120	17.6	10	0.8	6,170	1.4	110	6.1	190	22.9	0	0.0	10	0.4
5年前海外	15歳	1,780	96.7	40	80.0	210	95.5	280	60.9	1,680	99.4	50	100.0	340	85.0	160	50.0	440	56.4
	16歳	1,270	96.9	100	100.0	180	60.0	90	14.5	1,380	99.3	50	100.0	200	90.9	120	18.2	210	16.4
	17歳	1,390	94.6	20	50.0	250	64.1	80	7.9	1,460	95.4	60	100.0	270	87.1	90	12.5	170	9.8
	18歳	1,060	78.5	50	100.0	360	63.2	70	5.5	1,100	81.5	110	68.8	350	46.7	110	9.7	180	7.5
	19歳	790	66.9	100	71.4	550	51.4	40	2.9	1,070	77.5	210	72.4	530	35.1	0	0.0	40	1.4
	20歳	720	61.0	60	54.5	970	54.8	10	0.5	750	72.8	280	54.9	880	32.4	0	0.0	10	0.3
	21歳	650	65.7	70	53.8	900	47.9	10	0.6	660	57.4	370	61.7	1,050	29.8	20	1.2	30	0.9
	22歳	540	49.1	100	58.8	980	46.2	10	0.6	590	49.2	400	56.3	900	24.3	10	0.6	20	0.6
	23歳	270	27.3	170	56.7	760	37.1	0	0.0	180	13.8	350	55.6	840	23.7	20	1.2	20	0.6
	24歳	120	7.8	330	55.9	820	30.8	20	1.1	90	6.3	400	46.0	800	21.0	20	1.3	40	1.2
	25歳	100	6.3	410	61.2	900	34.9	20	1.1	40	2.2	350	44.3	980	25.5	20	1.4	40	1.3

注:Nは「分母」ではなく「分子」の実数値である。

等教育相当の年齢においては、逆に、過去5年間で引っ越しを経験した者の方が通学率が高くなるが、これは、高卒後進学する者はそうでない者より親元を離れることが多いからだろう。

第2に韓国・朝鮮人だが、21歳以降において、5年前に国外にいた者の通学率が（男子では35～70ポイント程度、女子では45～65ポイント程度）他より高いが、これは韓国人留学生によるものだと考えられる。また、男女差について見ると、5年前に国外にいた24歳以降の集団において、男子の通学率が女子よりも25ポイント程度高い。これは、この年齢になると女子が結婚のために来日するようになるからとも考えられるし、あるいは、この年齢になると兵役を終えた男子が留学のために来日するようになるからとも考えられる。

ところで、5年前に国外にいた韓国人は20～22歳において女性率が約8割と高いが、これらの女子の通学率が70～80%であることから判断

すれば、彼女達の多くは留学生であり、日本人や永住者の配偶者ではない。また、韓国ではこの年齢で兵役に就く男子が多い。したがって、この年齢で女性率が8割と高いのは、韓国人女子が結婚で来日するからではなく、韓国人男子が兵役で国外に出られないからであると判断してよいだろう。

第3に中国人だが、他の国籍と比べたとき、次の2つの特徴が指摘できる。まず1つには「5年前どこにいたか」が通学率に及ぼす影響が小さい。中国人においては、5年前の常住地によって40ポイント以上の差異が生じている部分が1箇所（20歳男子）、30～39ポイントの差異が生じている部分が1箇所（16歳男子）しか見当たらない。韓国・朝鮮人の場合のように「5年前に国外にいた21歳以降の集団において通学率が顕著に高い」とならないのは、中国人の場合、留学生の他に研修生が多いからだろう。

また、5年前に国外にいた20～23歳の集団に

表4 5年前の常住地別・国籍別・年齢別・男女別の通学率(%)

		男				女				男女
		日本	韓・朝	中国	伯国	日本	韓・朝	中国	伯国	伯国
5年前現住所	15歳	98.2	95.8	95.8	76.0	98.9	99.5	100.0	61.5	71.1
	16歳	95.8	95.5	100.0	68.4	97.5	92.9	90.3	60.0	66.7
	17歳	94.0	93.2	95.2	42.1	96.4	93.7	93.9	84.6	59.4
	18歳	79.0	72.2	67.7	38.9	82.8	71.7	80.6	42.9	40.0
	19歳	56.0	53.6	79.4	9.1	63.7	56.4	66.7	41.7	26.1
	20歳	47.0	42.1	33.3	0.0	46.4	41.3	60.0	11.1	4.5
	21歳	37.9	34.7	50.0	0.0	29.1	25.7	33.3	0.0	0.0
	22歳	28.5	24.8	60.9	0.0	17.5	15.7	37.5	0.0	0.0
	23歳	16.0	19.6	31.8	0.0	6.4	7.1	26.9	6.3	2.4
	24歳	9.2	9.4	22.2	0.0	3.6	6.1	40.0	0.0	0.0
	25歳	4.9	6.4	19.4	0.0	2.0	2.0	13.2	0.0	0.0
5年前国内他所	15歳	95.8	98.9	100.0	55.6	97.1	94.5	91.3	73.3	64.9
	16歳	90.8	96.6	88.9	47.1	93.3	91.1	91.7	60.7	55.6
	17歳	87.1	88.5	72.0	30.8	90.3	95.7	82.8	20.7	25.5
	18歳	74.5	78.3	59.4	16.7	77.5	74.5	66.7	4.8	12.3
	19歳	67.0	60.2	55.0	0.0	69.6	50.7	50.0	6.9	3.2
	20歳	57.5	55.6	40.9	0.0	54.3	52.6	61.8	2.7	1.3
	21歳	49.2	43.4	42.1	1.6	37.0	31.9	39.5	0.0	0.9
	22歳	37.0	24.0	33.3	0.0	22.2	25.6	50.0	0.0	0.0
	23歳	19.6	18.7	28.6	0.0	7.9	9.3	25.0	3.1	1.3
	24歳	9.4	11.2	36.0	0.0	3.6	11.0	21.6	0.0	0.0
	25歳	4.3	5.9	30.9	0.8	2.0	7.2	25.3	0.0	0.4
5年前海外	15歳	97.8	80.0	95.5	60.9	99.4	100.0	85.0	50.0	56.4
	16歳	97.7	100.0	66.7	16.1	100.0	100.0	90.9	18.2	17.2
	17歳	97.3	50.0	71.8	7.9	98.0	100.0	90.3	16.7	11.6
	18歳	88.9	100.0	75.4	7.8	91.1	68.8	50.7	10.6	9.1
	19歳	83.1	78.6	63.6	2.9	92.0	82.8	45.7	1.9	2.4
	20歳	80.5	54.5	75.1	0.5	86.4	70.6	46.3	0.0	0.3
	21歳	76.8	92.3	64.9	0.6	75.7	80.0	39.8	2.3	1.4
	22歳	62.7	58.8	64.6	0.6	65.0	81.7	38.1	0.6	0.6
	23歳	35.4	90.0	57.6	0.6	20.8	74.6	34.6	1.2	0.9
	24歳	9.8	81.4	51.9	2.2	9.1	55.2	32.8	2.0	2.1
	25歳	8.2	77.6	48.1	1.1	3.4	54.4	35.6	1.4	1.3

注:「通学のかたわら仕事」も「通学」に含めた。

において通学率の男女差が大きく、この集団においては女子の通学率が男子よりも25～30ポイント程度低い。これは、この年齢の研修生の中に女子が多く含まれているからとも考えられるし、あるいは、この年齢になると日本人と結婚して来日する女子が増えるからとも考えられる。

第4にブラジル人についてだが、「5年前どこにいたか」が教育に与える影響が予想した通りに——しかも鮮明に——出た。サンプル規模が小さいため男女別では傾向がはっきりしないが、男女の合計値（右端）を見ればはっきりと分かる。これを見ると、ブラジル人の在学率は、5年前の常住地が「現住所」→「国内他所」→

「国外」と変化するにつれて、16歳においては66.7%→55.6%→17.2%、17歳においては59.4%→25.5%→11.6%、と変化していく。

特に「現住所」から「国内他所」にかけての通学率の低下については、「中学時代や高校時代の転居が高校進学や高校卒業を困難にしているから」と解釈することができる。あるいは、「生活が安定していない人ほど転居する傾向が強く、生活が安定していない人の子ほど高校に通えていないから」と解釈することもできるだろう。もっとも、「ブラジル人は16歳だろうが17歳だろうが（かつて集団就職時代の日本人がそうだったように）遠方でいい仕事があれば家を離れて自立するから」——そういう解釈の可能性も否定できない。

5 おわりに

本稿では2000年国勢調査の「オーダーメイド集計」データを用いて、在日外国人青少年の教育に関する3種類の表を作成した。

表1は在学している学校種別の表だった。これにより、外国人の何%が高校に通えているのか等を国籍別・年齢別・男女別に明らかにすることができた。16～17歳の年齢でみた高校在学率は、ブラジル人の場合男女とも30～35%程度であることが分かったし、中国人については男子が65～70%程度で女子が85%程度であることが分かった。

表2では、来日5年未満の者を除外した上で、在学している学校種別の表を示した。これにより、日本で中学時代を送った外国人の何%が高校に通えているのか、日本で高校時代を送った外国人の何%が大学に通えているのか等を国籍別・年齢別・男女別に明らかにすることができた。日本で高校時代を過ごした中国人の大学在学率は、女子においては日本人と同等以上、男子においても日本人よりやや低い程度であることが分かったし、日本で中学時代を過ごしたブラジル人の高校在学率は男女とも35～50%であることも分かった。

表3では、5年前の常住地が現在の通学状況とどう関係しているかを示したが、これにより日本国内での転居と学業継続の関係を明らかにできた。高校相当年齢についていえば、特にブラ

ジル人において転居と学業継続の関係が顕著であり、例えば17歳について見た場合、最近5年間で転居を経験していない者の通学率が60%程度であるのに対し、経験した者の通学率は25%程度だった。

今回の「オーダーメイド集計」で反省すべき点があったとすれば、それは26～40歳のデータを申請しなかったという点である。もしもこれを入手していたら、外国人若年層の失業問題を教育（学歴）という視点から考察することもできただろう。とはいえ、様々なデータを実数値つきで公表できたことの意義は大きい。今後、本稿で紹介したデータが外国人青少年の教育を論じるための基礎データとして広く参照・活用されることを期待して本稿を終わりたい。

（付記）本稿は、科学研究費補助金による研究成果であり、移住労働者と連帯する全国ネットワーク貧困プロジェクトの一環としてもなされている。メンバーのうち、執筆に加わっていない大川昭博、奥貫妃文、鈴木健の三氏にも感謝したい。